

					(別紙3)
	公表 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）				
○事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスぷらすこ			
○保護者評価実施期間		2025年 9月 1日		～	2025年 9月 13日
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	10名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間		2025年 9月 16日		～	2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数		(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日		2025年 12月 10日			
○分析結果					
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせる環境が整っている。		日々の清掃・整備を徹底しています。また、子どもの同線や活動内容に合わせて家具や道具の配置を見直し、つまずきや衝突などの危険が生じないように細かく配慮しています。		個別の落ち着けるスペースや集中しやすい環境をさらに整備し、一人ひとりが安心して過ごせる空間の幅を広げていきます。
2	「児童発達支援計画」を示しながら、支援計画内容を丁寧に説明している。		専門用語をできるだけ使わず、保護者が安心して相談できる雰囲気づくりを心がけています。支援計画の作成前には職員間で子どもの様子を共有し、計画と実際の支援がズレないように調整することで、説明内容の信頼性が高められるよう意識して取り組んでいます。		計画説明の時間をより充実させるために、年間での相談日や個別面談の機会を増やし、定期的に進捗を共有できるような体制を整えていきます。また、計画の見直しがよりタイムリーに行えるようにします。
3	子どもが楽しく、安心して通所できている。		子どもが「楽しい」と感じられる活動を提供するため、興味や特性に合わせたプログラムを職員間で話し合いながら計画しています。活動中は一人ひとりの表情や反応を丁寧に見取り、無理なく参加できるよう声掛けや関わり方を調整し、成功体験を積み重ねられるよう、小さなできごとにも積極的に認めて伝えることを心がけています。		こどもが主体的に参加できる環境作りを目指し、活動スペースの見直しや教材の追加購入を検討しています。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応や災害対応など緊急時マニュアルは整備され訓練も実施しているが、保護者への情報提供が十分に伝わりにくい状況となっている。		緊急時対応の説明が紙面や口頭中心となり、保護者に具体的な対応内容がイメージしづらかった。		個別に説明させていただく他に、別の手段で情報発信をしていけるか検討を行っていきます。
2	保護者会や地域の児童との交流など、保護者・地域を巻き込んだ活動が十分に実施できていない。		交流活動の企画に時間や人的余裕が確保しづらく、職員内で取り組みが後回しになっていた。		保護者が参加しやすい形式での保護者会の企画立案において、内容に関しては保護者のニーズ・意見を聴取し、年間計画として立案して検討していきます。
3	第三者による外部評価を実施しておらず、外部の視点による改善点の把握や業務改善につながる仕組みが不足している。		外部評価の必要性は認識しているが、実施方法や手続きの確認が不十分で、具体的な準備が着手できていなかった。		第三者評価の実施方法について調査し、外部評価機関への依頼に向けて準備を進めていきます。